

## 「チャレンジ省資源宣言」 プレゼントキャンペーン及びてまえどりキャンペーンについて

「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンは、過度な資源利用の抑制・廃棄物の削減及び CO<sub>2</sub>削減するため、事業者の「チャレンジ省資源」の取組とその製品を紹介し、ごみの削減に向けた消費者行動の提案をするキャンペーンです。

また、てまえどりキャンペーンは、購入後すぐに食べる食品について、商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶことで食品ロス削減を呼びかけるキャンペーンです。

### 1 「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーン

#### (1) 概要

店頭で配布されるリーフレットに添付された専用はがき、またはウェブサイトからアンケートにお答えの上、ご応募された方の中から、抽選で合計 155 名に賞品をプレゼントします。

- ▶ 賞品の内容：食材を無駄なく楽しく調理できる「電気圧力鍋」(3名)

協力事業者の商品詰め合わせなど 15 種類各 10 名 ※一部 12 名

- ▶ 応募期間：令和 4 年 10 月 1 日（土曜日）～令和 4 年 11 月 30 日（水曜日）

※詳細はキャンペーン特設サイト (<https://www.resource-saving.jp/challenge-2022campaign/>) をご覧ください。

#### (2) スーパー・レストラン等での啓発ツールによるPR

下表の協力店においてポスターの掲出やリーフレットの配架を行い、各事業者の取組をご紹介します。

協力店舗数：1259 店舗

事業者名	協力店舗数
イオンマーケット株式会社	36 店舗
イオンリテール株式会社	92 店舗
株式会社エコス	14 店舗
サミット株式会社	119 店舗
生活協同組合コープみらい	85 店舗
生活協同組合ユーコープ	43 店舗
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	213 店舗
株式会社ダイエー	79 店舗
富士シティオ株式会社	50 店舗
株式会社東急ストア	77 店舗
株式会社マルエツ	300 店舗
株式会社ヤオコー	151 店舗

### (3) 協力事業者のオフィスや公共施設等におけるポスター掲出によるPR

- 協力事業者のオフィスや域内の公共施設等にポスターを掲出し、普及啓発を実施します。
- 実施期間：通年（オフィス・施設により、掲出期間は異なります。）

### (4) キャンペーン協力事業者

協力事業者 35 社（50 音順）

#### 小売・外食事業者（14 社）

イオンマーケット株式会社、イオンリテール株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社エコス、サミット株式会社、株式会社シジシージャパン、生活協同組合コープみらい、生活協同組合ユーコープ、株式会社ダイエー、株式会社東急ストア、富士シティオ株式会社、株式会社マルエツ、株式会社ヤオコー、株式会社セブン&アイ・フードシステムズ

#### 製造事業者（21 社）

アサヒ飲料株式会社、アサヒビール株式会社、味の素AGF株式会社、江崎グリコ株式会社、株式会社エフピコ、キッコーマン株式会社、キューピー株式会社、玉露園食品工業株式会社、キリンビバレッジ株式会社、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、サッポロビール株式会社、サントリーホールディングス株式会社、中央化学株式会社、株式会社ニチレイフーズ、株式会社日清製粉グループ本社、株式会社ファンケル、プリマハム株式会社、株式会社ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社ヨコタ東北、リスパック株式会社、

## 2 てまえどりキャンペーン

下表の協力事業者店舗においててまえどりを呼びかけるポップ及びレジ液晶POPを掲出します。

（レジ液晶 POP は一部事業者のみ実施）

- 掲出期間：令和4年10月1日（土曜日）～令和4年11月30日（水曜日）  
（協力事業者により、掲出期間は異なります。）

協力店舗数：9608 店舗（50 音順）

事業者名	協力店舗数
イオンマーケット株式会社	36 店舗
相模原市職員生活協同組合	1 店舗
生活協同組合コープみらい	69 店舗
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	4 店舗
株式会社ファミリーマート	4857 店舗
株式会社ポプラ	1 店舗

ミニストップ株式会社	660 店舗
山崎製パン株式会社	410 店舗
株式会社ローソン	3570 店舗

### 3 九都県市の取組

九都県市では、家庭から発生するごみの容積の 60%を超える容器包装を減量化する事業者がその取組を宣言する「容器包装ダイエツト宣言」事業を実施し、宣言をした事業者の取組を域内住民等に紹介することで、ごみの減量化に取り組んできました。

近年はプラスチックごみや食品ロスが世界的な問題となつてきており、2015 年に各国の首脳が集まった国連サミットで採択された SDGs（持続可能な開発目標）に、2030 年までに食品の廃棄を半減することや、2025 年までに海洋ごみ等あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減することが記載されるなど、注目が高まっています。

こうした状況を踏まえ、今年度から、これまでの容器包装に加え、ワンウェイプラスチック製品（使い捨てプラスチック製品）や食品ロスの削減を対象とした「チャレンジ省資源宣言」を開始しました。

#### ～ごみの削減に向けて～

ごみを減らすために、消費者にもできることはたくさんあります。今回のキャンペーンをきっかけに、ごみの削減に取り組みましょう。

- ✓ 買い物の際にはマイバックを持参して、不要なレジ袋をもらわないようにしましょう。
- ✓ 飲食店では自分が食べきれぬ分だけオーダーしましょう。
- ✓ 使い捨ての商品はなるべく使わず、環境に配慮しましょう。

#### ～「チャレンジ省資源宣言」～

Challenge（チャレンジ：挑戦）：企業が環境のために様々な挑戦をして

Choice（チョイス：選ぶ）：消費者が環境のことを考えて商品・サービスを選ぶと

Change（チェンジ：変わる）：持続可能な世界に変わります。

ワンウェイプラスチック製品、容器包装、食品廃棄物を減らしたり、無駄にしないために企業が行う取組を応援し、住民への普及啓発を行うことで持続可能な資源利用への転換を目指しています。

チャレンジ省資源宣言ホームページ <https://www.resource-saving.jp/>

